

訪問看護でがんばるあなたに

みなさんは訪問看護のことで
困っていることがありますか？
あるいは、訪問看護のことで
悩んだことがありますか？



訪問看護をしていると、悩みも課題も
あってあたりまえです。

なぜなら、理想の生活をしている利用者さんや、環境がすべて
整っている地域などないからです。

それに、利用者さんの毎日の生活を見れば、身体のことはもちろん、
精神的な問題、家族の事情や、経済的な問題まで、さまざま
な事柄が断片的とはいえ、見えてきます。

それについて、自分は何か役に立っているのだろうか？ 毎回
訪問していて意味があるのだろうか？ と感じてしまうこともある
のではないのでしょうか？

訪問看護の利用者さんたちは、一見すると何ヶ月も何年も生活
ぶりが変わらない方が多いのですから、病院と比べると、なおさ
ら看護がその方のどこに役立っているのかを見失いやすいのでは
ないのでしょうか？

でも、それはあなただけではありません。

訪問看護師であれば誰も同じような悩みや課題を抱えているのです。
そしてそんな思いを抱えながらも、毎日がんばって訪問している
のですよね！

それでも、毎日訪問看護が楽しく、嫌にならずに続けていける
のはなぜでしょう。

その訪問看護の楽しさを共有してみませんか？

訪問看護とは

1. 訪問看護の基本

訪問させてもらうということ

1) マナーが大切

訪問看護は、利用者さんの家に訪問させていただけないと、看護をする機会さえ得られません。病院のように出勤すれば患者さんが看護を待っているというのとは大きく異なります。



ですから、これまで面識もない看護師が家に入ることを許してくださり、居室や浴室やトイレなど、その家の日常生活に入り込むことを了解してくださる利用者さんと家族に感謝と敬意の気持ちを持たなければなりません。だからこそ、しっかりしたマナー、わからないことをそのままにしない誠実な態度、訪問させていただくという謙虚な姿勢がずっと求められているのです。それから一番大切な笑顔を忘れないでください。

2) 意思の尊重

訪問看護では、看護師が家を訪れるのは生活のごく一部の時間です。それ以外のほとんどの生活は、利用者さんと家族で営んでいるのです。つまり、医療機器の管理も、服薬も、創の処置も、健康管理上必要なことはほとんど利用者さん自身や家族が実施しているのです。

ですから、看護目標は当然ながら、利用者さんや家族と共有